

社協 だより たるい

TOPICS

- 垂井町社会福祉協議会法人化50周年
記念座談会 (P2 ~ 3)
- 令和6年度事業報告・決算報告
役員紹介 (P4 ~ 6)
- 福祉学習・在宅介護者のつどい (P7)

150号



法人化50周年記念座談会を開催しました



▲ 垂井町社会福祉協議会法人化50周年記念座談会の様子 (P2 ~ 3)



▲ 垂井小学校福祉学習 (手話) の様子 (P7)



▲ 不破高等学校福祉学習 (認知症について) の様子 (P7)

令和7年9月1日発行

編集発行

社会福祉法人 垂井町社会福祉協議会

不破郡垂井町1305番地の2 (垂井町福祉会館)

TEL (0584)23-3335 FAX (0584)22-2714

ホームページ <https://www.tarui-shakyo.jp>

E-mail info@tarui-shakyo.jp

この広報誌は共同募金の配分を受けて作成しています



TARUICHOSHAKYO

垂井町社会福祉協議会法人化50周年記念座談会

【日時】令和7年8月4日(月) 13時30分～15時
【会場】垂井町福祉会館 介護学習室

垂井町社会福祉協議会法人化50周年を記念し、日頃より垂井町内で地域福祉推進にご尽力いただいている方々にお集まりいただき、座談会を開催いたしました。垂井町社協のこれまでの歩みを振り返るとともに、これからの福祉のまちづくりに関する思いや、今後の垂井町社協の役割や期待することなどをお話しいただきました。

出席者(順不同)

川瀬 茂治様 (垂井町民生委員・児童委員協議会会長)
渡邊 直文様 (垂井町連合福祉推進委員会委員長)
秋田 義彦様 (垂井町ボランティア連絡会会長)
谷口 敏子様 (垂井町・垂井町社会福祉協議会OB)
根本 大悟様 (不破高等学校3年)
山田 蒼矢様 (不破高等学校3年)
生徒引率
浦野 善裕様 (不破高等学校校長)
生沼 智春様 (不破高等学校教諭 福祉担当)
澤島 精次 (垂井町社会福祉協議会会長)
増田 智子 (垂井町社会福祉協議会職員代表)
司会進行 富田 浩生 (垂井町社会福祉協議会事務局長)



【富田】 本日は、垂井町社会福祉協議会法人化50周年記念座談会にご参加いただきましてありがとうございます。はじめに垂井町社会福祉協議会会長より挨拶申し上げます。

【澤島】 連日の猛暑が続いております中、ご参集いただき誠にありがとうございます。

皆様には、日頃より協力いただいておりますが、本日はテーマに縛られることなく、幅広くくばらんなご意見や思いをお話しいただけると幸いです。

本日はどうぞよろしくお願いいたします。



垂井町社会福祉協議会
Instagram QRコード

座談会の模様を
写真中心に紹介
しています。
是非ご覧ください。



【富田】 まずは、活動を始められたきっかけや垂井町社協との出会い、関わりなどを交えながら自己紹介をお願いします。



川瀬 茂治様
【川瀬】 民生委員・児童委員の代表として参りました川瀬と申します。
現在、46名の民生委員・児童委員が町内で活動しております。
私自身は今年で9年目になります。

私が民生委員になりたての頃、地域で普段から気にかけていた方と年末にお会いした際に体調が悪そうでしたので家まで送り届けたことがあります。しかし、年末年始でその後どう対応してよいか悩んでいたとき、社協さんに電話して「こんな方がおるんやけど見に行ってもらえませんか？」と伝えたところ、迅速に対応してくださいました。

私もまだ1年目、どうしたら良いのかわからない中、社協さんには経験ある方が揃っていて、大変助かったことを覚えております。そのときから社協さんとの付き合いが続いております。



渡邊 直文様
【渡邊】 垂井町連合福祉推進委員会委員長の渡邊です。
私は昭和20年生まれですので、これからいろんな方にお世話になる年代に入ってきましたが、社協さんとの縁があり、動けるうちは地域のあたたかい環境づくりを目指そうと、やる範囲で活動を続けています。

コロナ以降、地域のつながりが希薄化する中、今一度、「お隣さんが大事」と、自治会長さんを中心に民生委員さん、福祉推進員とが連携を取りながら活動しています。

今後さらに核家族化が進んでいきますね。独居高齢者が洗濯物を自分で干そうとして、倒れて立ち上がれないといったような事例が近所でもよくあります。誰も気づかない、気づくのは宅配便や郵便局の方。そうした方にもお世話になるのは良いことですが、その前に地域でやれることがあるんじゃないか、というのが私の持論です。

私たち福祉推進員は自治会から推薦されて任期2年で活動します。民生委員さんの任期は3年ですが、なり手不足の中、9年以上やっておられる方もいらっしゃいます。お互いに応援しながらチームを組んで活動しています。



秋田 義彦 様

秋田 垂井町ボランティア連絡会会長の秋田です。

私が垂井町に来たのは83年の秋で、その頃に手話教室が終わり、新しく手話サークルが出来ました。ですので40年以上の活動になります。現在は手話サークルの会長を務めております。サークルの昼の部をこちらで行い、夜の部はワイワイプラザ垂井で行っています。

私自身は、町内の障がい福祉施設に長年勤務し、定年を過ぎた今もグループホームの世話人を週1日ほどやっております。

私の場合は、手話の活動を続けてきたことで、後からいろんなものがついてきたというわけですが、福祉大会やボランティアフェスティバルに行ったりですが、社協理事でもありますので、様々な形で社協と関わりがあり、楽しくやらせてもらっています。

谷口 以前、垂井町社協の事務局長をしていました谷口です。当時、先ほどお話しされた秋田さんにも本当にお世話になりました。聴覚障がいをお持ちの方への関わりが難しく、秋田さんらに手話を教えていただき、対応したことを覚えています。



谷口 敏子 様

また、当時は、訪問介護事業を24時間体制で行っていました。生活困窮の方も結構多く、訪問したら亡くなっていた、垂井町社協で葬儀を執り行ったこともありました。昔は、身寄りのない方の葬儀を社協で執り行ったこともあったんです。葬儀のお礼を払えないので、民生委員をされていた僧侶の方をお願いしてお経をあげてもらったこともありました。

社協は、行政から離れて民間の立場となりました。行政が出来ないところをやっていたಿದೆいます。なかなか大変な仕事ですが、重要な役割を持っていると思います。

富田 ありがとうございます。本日は、本会が指定する福祉協力校から不破高等学校の生徒さんにお越しいただきました。ご自身が関わられているボランティアや福祉活動について、また、高校生活の中で頑張っておられることなどに触れながら、自己紹介をお願いします。

次代を担う若いお二人においでいただきました。ご自身が関わられているボランティアや福祉活動について、また、高校生活の中で頑張っておられることなどに触れながら、自己紹介をお願いします。



山田 蒼矢 様

山田 不破高等学校から来ました3年生の山田蒼矢です。不破高校では、保育園との交流で折り紙を作ってプレゼントしたり、体育大会に園児を招待し一緒に競技をしています。また、生徒会では挨拶活動や高齢者を対象としたスマホ教室を開いたりしています。

根本 同じく不破高等学校3年生の根本大悟です。

根本 大悟 様

不破高校では、作製したコースターを高齢者施設にプレゼントしたり、また、地元の小学校へ行つて勉強を教えたり、ワイワイプラザで児童と折り紙を作ったりして交流しています。

富田 ありがとうございます。先生方からも一言ずついただきますか。

生沼 福祉担当の生沼です。今、生徒が話してくれたように、不破高校では、日頃から自主的なボランティア活動を通して地域の方と交流を深めています。また、「生活と福祉」という科目の中で、高齢者のことや病気のこと、制度について授業で1年間通して学んでいます。

浦野 今年度から不破高校の校長になりました浦野と申します。不破高校は県立でありながら、垂井町の皆さんにとっても理解していただき、そして協力いただいている学校であると日々感じております。

少子化もあり、高校も単独でいろんなことが出来なくなってきました。本校に出来ることがあれば、様々なところと協議または協力しながら、今後も地域と連携を図って参りたいと考えております。

富田 ありがとうございます。本日は、本会より澤島会長と次代を担う職員代表として増田も参加させていただきました。

会長 垂井町社会福祉協議会会長の澤島でございます。私は垂井町役場に定年まで勤めまして、高齢福祉係長や子育て支援係長だった頃に社協との関わりがありました。

当時の立場としては行政なので、制度設計や財源確保が中心で、社協とは福祉への関わり方の違いはありましたが、縁あって、定年後しばらくしてから会長となり、現在2期4年になります。

増田 垂井町社会福祉協議会の増田と申します。福祉活動専門員として地域福祉全般を担当しております。

子どもの頃から馴染みのある垂井町で、これからも地域の皆さんと一緒に活動していきたいと思っています。



次号に続きます

令和6年度事業報告・決算報告

垂井町社会福祉協議会では、「地域共生社会」実現のため、垂井町地域福祉活動計画（計画期間 令和2年度～令和8年度）に基づき、地域の皆様のご支援とご協力をいただきながら、「ささえあいでつくる 福祉のまち たるい」をめざした取組を進めました。

（令和6年度事業報告・収支決算については、理事会・評議員会にて報告し承認されています。）

法人運営事業

適切な法人運営と効率的な事業経営を行うため、財務人事管理をはじめ、組織全体にかかわる企画・調整等を行いました。

社協会費や寄付金・寄付物品について皆様からご協力いただきました。

- ・理事会、評議員会等の開催
- ・会員（会費）募集（募集実績4,617,500円）
- ・寄付受付（寄付金501,771円、寄付物品9件）

企画広報事業

社協の活動をわかりやすく伝え、地域福祉の推進をはかるため、広報活動等を行いました。

- ・社協だよりの発行（年6回）
- ・ホームページやSNSによる情報発信
- ・マスコットキャラクター“るいちゃん”の活用



高額・生活資金貸付事業

- ・要生活援助者世帯への支援活動
- ・生活資金貸付事業の実施
- ・県社会福祉協議会生活福祉資金（特例）償還相談受付
- ・生活困窮者自立相談支援
- ・食料支援の実施
- ・フードバンク・ドライブ
- ・ぎふ子どもの学習支援・垂井教室の開催



心配ごと相談事業

町からの受託も含めて総合相談事業として、相談員による相談所（心配ごと相談所、弁護士による法律相談所、結婚相談所）を開設しました。

福祉活動事業

誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくりを進めるための事業を実施しました。

- ・生活支援サービスの活動支援
- ・地区ささえあい連絡会等の活動支援
- ・福祉推進員、近隣ボランティア研修会の実施
- ・いきいきふれあいサロン活動相談支援・助成
- ・ふれあいサロン交流会の開催
- ・生活援助サービスの研究
- ・在宅介護者への相談支援
- ・福祉機器の無料貸出
- ・特別給食サービスの実施
- ・社会福祉法人等連携・協働の基盤づくりモデル事業（垂井町社会福祉法人等連絡会による連携・協働事業の実施）
- ・福祉学習の支援（手話学習、高齢者の福祉について、高齢者疑似体験セット・点字セットの貸出等）



ボランティアセンター事業

ボランティア活動を推進するため、講座の開催や支援、調査等各種事業を行いました。

- ・ボランティアセンター運営
- ・ボランティア保険加入
- ・福祉関係ボランティア連絡会の活動支援
- ・おもちゃ病院



在宅介護支援センター事業（受託事業）

在宅介護者を支援するため地域包括支援センターと連携を図りながら24時間体制での相談支援事業等を行いました。

- ・在宅介護者のつどい開催

ひとり暮らし高齢者等訪問事業（受託事業）

ひとり暮らし高齢者のお宅を訪問し安否確認を行うとともに定期的に生活状況等の調査を行いました。

生活支援体制整備事業（受託事業）

生活支援コーディネーターを配置し、地域課題の抽出や地域資源の把握を行いました。

- ・情報共有会議（10回）
- ・地域ケア個別会議への参加
- ・通いの場・活動の場調査
- ・生活支援サービスの活動支援
- ・ささえあいでつくる福祉のまち講演会開催



垂井町福祉事業所けやきの家（町指定管理）

- ・垂井町福祉事業所けやきの家の運営
- ・自主製品の販売
- ・町内団体との協働による自主製品の開発
- ・フェアトレード製品の開発
- ・利用者社会参加事業の開催（季節行事）



障害者自立支援事業

- ・基準該当障害者福祉サービスの実施
- ・垂井町障がい者相談支援事業所運営



介護保険事業

- ・訪問介護事業所の運営（休止中）
- ・通所介護事業所の運営
- ・居宅介護支援事業所の運営



助成事業

町内の学校や団体の福祉活動を支援するため助成を行いました。

共同募金配分事業

- ・ 赤い羽根共同募金、歳末たすけあい募金運動の実施
募集実績 赤い羽根共同募金 2,295,466円
歳末たすけあい募金 2,097,572円
- ・ 共同募金一般配分金事業
- ・ 歳末たすけあい配分金事業

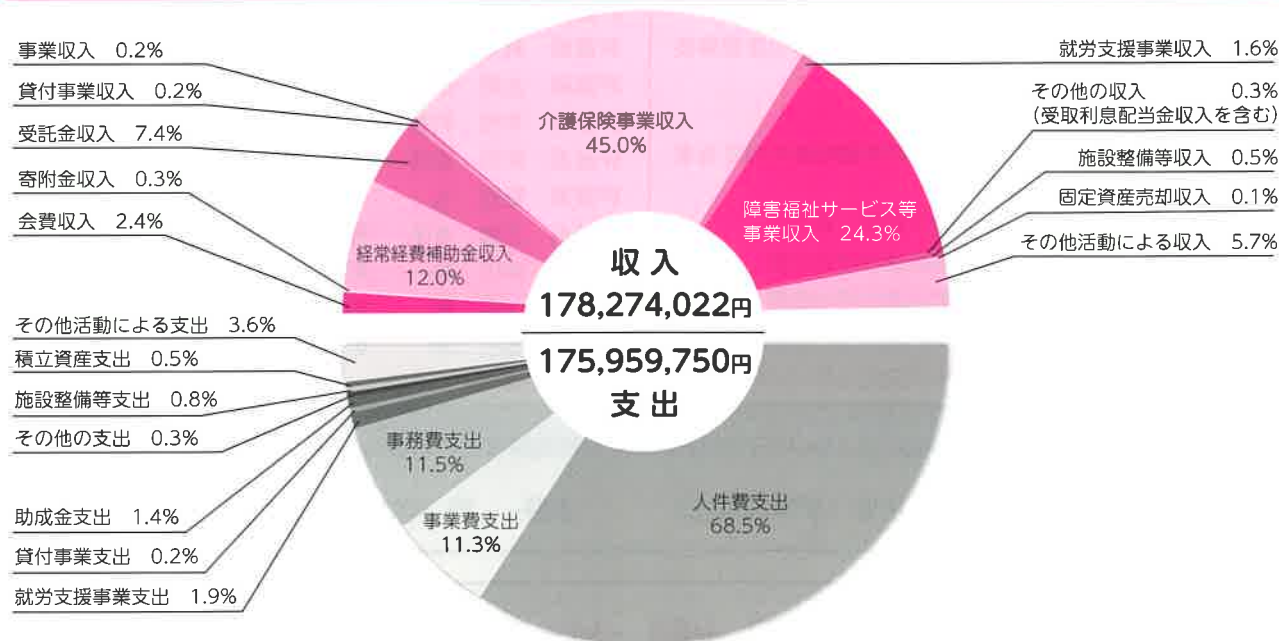
福祉サービス利用援助事業

認知症高齢者や障がい者等で判断能力に不安を抱える方に対して、契約に基づいて、福祉サービス利用手続きや日常的金銭管理等の支援を行いました。

日本赤十字社事業

- ・ 社員（社資）募集（募集実績 3,538,520円）
- ・ 非常時に備えての活動
非常食・非常用器具の備蓄
- ・ 災害時訓練支援

令和6年度決算のあらまし



貸借対照表（令和7年3月31日現在）

資産の部		負債の部	
流動資産の合計	50,781,908円	流動負債	16,833,139円
現金預金	24,696,227円	事業未払金	6,633,560円
事業未収金	26,085,681円	1年以内返済予定リース債務	470,470円
前払い費用	0円	1年以内返済予定長期未払金	3,568,192円
固定資産合計	49,541,158円	預かり金	51,954円
基本財産	1,000,000円	職員預り金	139,720円
定期預金	1,000,000円	賞与引当金	5,969,243円
その他の固定資産	48,541,158円	固定負債	46,199,756円
車両運搬具	6,101,196円	リース債務	0円
器具及び備品	8,682,759円	退職給与引当金	46,199,756円
有形リース資産	4,032,600円	長期未払金	0円
減価償却累計額△	15,196,102円	負債の部合計	63,032,895円
長期貸付金	2,868,000円	純資産の部	
退職手当積立基金預け金	34,058,100円	基本金	1,000,000円
退職給付引当資産	7,642,725円	基本金	1,000,000円
福祉基金積立資産	328,800円	国庫補助金等特別積立金	828,058円
その他の固定資産	23,080円	国庫補助金等特別積立金	828,058円
資産の部合計	100,323,066円	その他の積立金	328,800円
		福祉基金積立金	328,800円
		次期繰越活動増減差額	35,133,313円
		次期繰越活動増減差額	35,133,313円
		うち当期活動増減差額	4,799,638円
		純資産の部合計	37,290,171円
		負債及び純資産の合計	100,323,066円

役員(理事、監事、評議員の皆さん)を紹介します <順不同・敬称略>

会 長 澤島 精次 学識経験者
副会長 川瀬 茂治 町民生委員児童委員協議会会長
副会長 渡辺 保彦 町連合自治会連絡協議会会長
東地区連合自治会長
理 事 酒井 明美 町健康福祉課長
理 事 渡邊 直文 町連合福祉推進委員長
理 事 岩田 順子 垂井町福祉事業所けやきの家
理 事 早野 博文 学識経験者 町長
理 事 秋田 義彦 町ボランティア連絡会会長
理 事 広瀬 隆博 町議会議長
理 事 中橋 昇 社会福祉法人あゆみの家理事長

監 事 岩田 勝司 税理士
監 事 下元 佳代子 社会福祉の知識経験を有する者

評議員 水野 忠宗 町議会文教厚生委員長
評議員 小林 禎裕 垂井地区連合自治会長
評議員 小野 幹雄 宮代地区連合自治会長
評議員 高木 好己 表佐地区連合自治会長

評議員 西脇 孝雄 栗原地区連合自治会長
評議員 西尾 勝 府中地区連合自治会長
評議員 片岡 兼男 岩手地区連合自治会長
福祉推進員岩手地区代表
評議員 柳瀬 吉実 町民生委員児童委員協議会副会長
評議員 飯沼 千代子 町民生委員児童委員協議会副会長
評議員 渡辺 百合子 町民生委員児童委員協議会副会長
評議員 北村 久幸 福祉推進員垂井地区代表
評議員 藤原 真一郎 福祉推進員東地区代表
評議員 中川 敏美 福祉推進員宮代地区代表
評議員 林本 房子 福祉推進員表佐地区代表
評議員 水野 仁雄 福祉推進員栗原地区代表
評議員 木村 和義 社会福祉法人博愛会代表
評議員 宗宮 康浩 社会福祉法人白寿会代表
評議員 野部 弘 社会福祉法人養徳福祉会代表
評議員 三輪 幸子 障害者福祉協議会垂井町分会代表
評議員 中川 秀一 町内小中学校長会代表
評議員 山河 剛 町PTA連合会代表
評議員 溝口 萌 町内保育園・幼稚園保護者会代表

第三者委員紹介 社会福祉法人垂井町社会福祉協議会苦情解決第三者委員を紹介します。<順不同・敬称略>

町田 正博 (学識経験者) 衣斐 修 (学識経験者)



赤い羽根共同募金

～皆さまのご協力をお願いします～

今年も10月1日から、全国一斉に共同募金運動がはじまります。

共同募金は、「赤い羽根募金」と「歳末たすけあい募金」に分けられ、どちらも、じぶんの町を良くするしくみとして、高齢者や障がい者、子どもやその親等、子どもから大人まで支援を必要とする様々な人のくらしを支えています。また、災害ボランティア活動支援等にも役立てられています。

岐阜県共同募金会垂井町分会では、今年度も関係各位のご協力をいただきながら、町内で募金運動を展開いたします。

皆様のあたたかいご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。



赤い羽根募金

さまざまな地域福祉の課題解決に取り組む、事業者や団体等を支援している募金です。

歳末たすけあい募金

新たな年を迎える時期に、支援を必要としている人々が安心して暮らすことができるよう実施している募金です。



募金箱

イベント募金

戸別募金

学校募金

法人募金

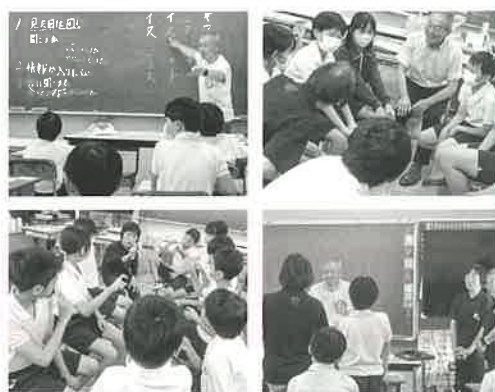
職域募金

街頭募金

垂井小学校福祉学習(手話)

6月9日(月)に垂井小学校6年生のみなさんと福祉学習を行いました。今回はボランティアグループ泉の会のみなさんを講師にお迎えし、手話について学びました。

聴覚障がいをお持ちの方の日常生活での困りごとや周りの人をお願いしたいことを伺ったり、簡単な手話や指文字について教えていただきました。垂井小学校のみなさん、ありがとうございました。



不破高等学校福祉学習 ケアマネジャー出前講座(認知症について)

7月14日(月)、15日(火)に3年生の授業で本会職員のケアマネジャーが講師として、「認知症」をテーマに出前講座を行いました。

みなさんメモをとりながら真剣に話を聞いてくださり、認知症について学びを深める機会としていただきました。



在宅介護者のつどい

6月17日(火)にメモリアホールディングス様を講師にお迎えし、『終活について』在宅介護者のみなさんと勉強しました。最近、墓じまいがよく話題になるといことから、お墓をしまう際にかかる費用や時間について詳しく教えていただきました。

また、自分の意志や気持ちを残すことができるエンディングノートは『今すぐ書ける』ところから書いていく』ということがポイントであると教えていただきました。

勉強会の後に講師の方を囲んで行った交流会では、「家の物が片付かない。」「相続の話を家族に切り出せない。」など参加者のみなさんの終活に関する思いや悩みを共有する時間となりました。

次回は、9月10日(水)に垂井町文化会館小ホールにてコンサートを開催いたします(左記)。



在宅介護者のつどい

TSS~ウィンドアンサンブル垂井

オータムコンサート

日時▶令和7年9月10日(水)

13:30~15:00

場所▶垂井町文化会館

小ホール

まだまだ暑い日が続きますが、
素敵な音楽で秋を感じる
ひとときを過ごしましょう

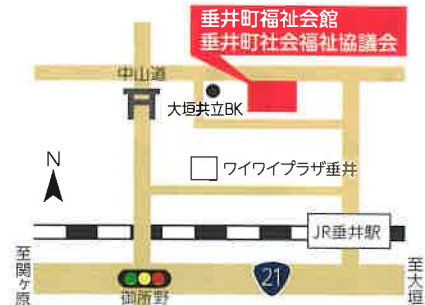
各事業は、感染症対策のため、中止となる場合があります。最新情報は、ホームページをご覧ください。
お問い合わせください。

心配ごと相談日のご案内

場 所／垂井町福祉会館 2階相談室 (垂井町1305番地の2)
時 間／各回とも 13:00～16:00
その他／ご相談は無料です。
法律相談をご希望の場合は、必ずご予約ください。

	心配ごと相談		法律相談	結婚相談
9月	3日(水)	17日(水)	25日(木)	27日(土)
10月	1日(水)	15日(水)	23日(木)	25日(土)
11月	5日(水)	19日(水)	27日(木)	22日(土)

◆お問い合わせ・ご予約先
垂井町社会福祉協議会
☎(0584)23-3335



傾聴ボランティア養成講座を開催いたします

日 時：令和7年10月1日(水) 13:30～15:30
場 所：垂井町文化会館 小ホール
対 象：垂井町内在住・在勤の方
講 師：傾聴ボランティア「みみの木」
代表 早川 一枝 様
☆お気軽にお問い合わせ・お申し込みください☆



おもちゃ病院たるい診療日

壊れたおもちゃをお持ちください。
おもちゃドクターが修理します。

※修理費は無料ですが、部品代など実費をいただく場合がございます。
※テレビゲーム機など承れないおもちゃもございますのでご了承ください。

診療日時／9月27日(土)

10月25日(土)

11月22日(土)

※各日とも、10:00～12:00

場 所／垂井町福祉会館 介護学習室
お問い合わせ先／垂井町社会福祉協議会
☎(0584) 23-3335



編集後記

新涼の頃となりました。秋風が吹くと暑かった夏が過ぎたと感じ、心の中でホッとしています。

9月と言えば、稲刈り時期です。今は亡き同居の父や、母と祖母、私たち家族で稲刈りを行っていました。私の娘達がトンボを捕まえたり、小さな手で手伝いをしてくれた頃が懐かしく感じます。

今は娘達も家族がで、子供がいます。

これから食欲の秋です。夏バテされた方も美味しく食べて、体力作りをして下さい。

(S.K)

